

## みんなで、学び語り合う西労組の必要性



1月24日から26日の3日間に分け、兵庫勤労市民センターにおいて今年度の新入組合員と契約から正社員になられた組合員対象にユニオンスクールを開催した。

3日間で約120名の若い組合員が参加し、労働組合の意義と必要性、各種共済の説明を地本執行部から行い、青年女性員会の活動や仲間づくりの大切さについては地本青年女性委員会から説明を行った。その後クイズ形式でJR西労組についての知識を高め、グループディスカッションの場においては、入社してからの疑問や感じたことについて職場やシステムを越えた仲間と意見交換を行い、グループごとに発表し参加者全員で共有化を図った。

参加者からは、組合に対する知識を深めることと合わせて、違う職場の組合員と交流する事ができ、楽しかったとの声があった。

### 新入組合員 ユニオンスクール開催!

## 神戸地本主催 L層ユニオンカレッジ開催!

2月14日(木)兵庫勤労市民センターにおいて、L層の組合員を対象とする「L層ユニオンカレッジ」を、23名の受講生とスタッフ17名参加のもと開催した。

冒頭、本多賃金対策部長司会の挨拶からは「L層として日々の業務やC層とのコミュニケーションに精励いただいていることに感謝申し上げる。勤務調整等苦勞を掛けている部分も多くあると思うが、今日は普段言えないことも、しっかりと意見をいただきたい。」との挨拶があった。「労働組合の必要性とJR西労組の活動」について鳥住教育部長が講義を行い、グループディスカッションのテーマとして「L層が組合活動を行う参加するうえでの問題点及び改善点」「夫婦共働きの勤務調整における勤務担当の問題点及び改善点」「間接部門との仕事上での問題点及び改善点」についてディスカッションを行い、勤務調整の負担や今後の展望に対する不安、指導・教育や計画・当直業務についての技術継承の課題、指令と乗務員職場間の連携、ノー残業デーの統一等々、多くの問題が抽出され全体発表で共有化を図った。

最後に特別講師として神戸支社人事育成課松山課長を招き、自身の経験を踏まえた労働組合の重要性について講義いただいた。

閉会時にあたり、小出企画部長から「労組から会社に対し、企画提案できる組織を造り上げるために職制にとらわれず力を合わせて頑張ろう!」と挨拶し、ユニオンカレッジを終了した。

